

令和6年度 事業所自己評価結果の公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表：令和7年3月28日 / アンケート期間：令和7年2月17日～令和7年2月28日 / 回答者数（児童数）17名

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	3	

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	2	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	2	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	2	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	2	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	4	4

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2	4
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	2	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	6	2
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	3	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16		1
	22	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか。	16	1	

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	2	

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16	1	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	1	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和6年度 事業所自己評価結果の公表

事業所における自己評価結果および改善内容・改善目標

公表：令和7年3月28日 / 回答者数(職員数) 7名

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	職員の配置人数は適切である。	6	1	・活動内容や児童によって部屋の広さを変えて活動を行っている。 ・片付けを徹底し療育室の環境を維持している。 ・周囲が気になるような場面ではパーテーションなどで周りが気にならないように隠す。	・メインのスペースが少し広く、走りたくってしまう児がいる。来年度の利用児の特性を把握したうえで再度環境を整えたい。 ・活動場所が分かりやすく、仕切っても良いかと思う。 ・トイレの着替えの環境整備をし、見えないようにする工夫が必要だと思う。 ・玩具や絵本の壊れた物や破れたものを修理したり入れ替える。
	2	日々の活動や支援のためのスペースは利用定員に対して十分に確保されている。	7			
	3	保育・生活空間は、本人にわかりやすく構造化しているなど子どもたちの特性に合わせた環境になっている。	6	1		
	4	保育・生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもたちの活動に合わせた空間になっている。	6	1		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画できている。	6	1	・常勤のスタッフには日々の振り返りにて、非常勤のスタッフには業務日報を通して周知することができていると感じる。 ・非常勤のスタッフにも活動の改善点や良かった点を伝えてもらっている。	・保護者向けの自己評価表を拝見する機会がありませんため、質問項目だけでも一度目を通すことができればよい。 ・質の向上という観点でどのような研修がよいのか検討する必要がある。
	6	職員の資質の向上を行うために、研修を行っている。	7			
	7	保護者向け自己評価表により保護者の意向等を、また事業所自己評価表により職員の意見等を把握する機会を設けており、それらの内容を業務改善に繋げている。	7			

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	8	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	7		・毎月、スタッフ間で活動のアイデアを出しあい、担当や活動が固定化しないようにしている。 ・一部の活動は固定化しているものもあるが、毎月やりたい活動を候補に挙げ、曜日ごとの利用児童と内容を全員で大まかに考えて月案を立てている。 ・子どもの情報共有や支援についての検討を職員全員で行っている。 ・気づいたことは必ず共有している。	・今後、機会があれば保護者にもアンケートを取り、保護者のニーズを踏まえた活動を取り入れていくこともよいと考える。 ・前日までに準備が間に合わず、朝直前まで活動準備をしていることがあり、登園までに職員全体への打ち合わせが済まないことが何度あった。朝は余裕を持って打ち合わせが始められるように準備をする。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画が作成されている。	7			
	10	個別支援計画には児童発達支援ガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の観点から、支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されている。	7			
	11	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている。	7			
	12	活動プログラムの立案をチームで行っている。	7			
	13	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	7			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ活動プログラムや個別支援計画に反映している。	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	7			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	7			
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	7			
関係機関や保護者との連携	18	定期的モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、見直しを行なっている。	7			
	19	地域の母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関(区役所等)と連携した支援を行っている。	6	1	・降園時の保護者対応で最近の家での様子や教室での様子を共有している。	・登園時に保護者の方との怪我の有無等の確認を怠ってしまうことがあり、いつできた傷なのか分からないまま預かってしまうことがあるので毎朝よく確認する。 ・保育所等訪問支援を行ってきたい。
	20	保育所や幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との併行利用や移行に向けた支援を行っている。また、その際、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	7			
	21	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	7			
	22	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所等と連携し、支援に活かしている。	7			
	23	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、健康面や発達の状況、課題について共通理解を持っている。	7			

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明等	24	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	7		・療育参観を行い、行事や面談時などより時間を伸ばして普段の様子を見ることができるようになった。保護者の支援への理解、関わり方への理解につなげることができた。 ・保護者からの質問などで分からないことがあった際はうやむやにせずその場ですぐに管理者に引き継いでいる。	
	25	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている。	7			
	26	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	7			
	27	保護者会や行事を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けている。	7			
	28	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	7			
	29	定期的に活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に対して発信している。	7			
	30	個人情報の取扱いに十分留意している。	7			
	31	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	7			

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	32	防犯対策、安全対策、感染症予防、非常災害時の対応方法についてマニュアルを策定し、職員や保護者等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	7		・毎月、避難訓練を実施している。 ・避難訓練の担当スタッフを月ごとにローテーションしていくよう事前に決めている。 ・玩具や家具の点検や消毒。	・予防接種の状況の把握までできていないので行いたい。 ・服薬や予防接種については、保護者の方から連絡があった場合のみ確認している。時折連絡なく気管支拡張テープ等を貼っている児がいるため、休み明けや体調不良時は特に注意して保護者に確認する。 ・ヒヤリハットは日々業務日報で全体周知しているが、事例集としてまとめていないので今後は行いたい。
	33	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている。	7			
	34	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	6	1		
	35	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	7			
	36	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	7			
	37	子どもの安全確保に関して、保護者との連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、保護者等へ周知している。	7			
	38	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	3	4		
	39	虐待防止について職員研修を確保する等、適切な対応をしている。	7			

事業所内での分析	分析結果を踏まえた改善目標の設定
(保護者評価・事業所評価のずれ・共通点の分析) ・保護者への説明で相談申入れの対応ができているか、行事の周知の時期について評価のずれが見られた。 ・適切な支援の提供で評価のずれが見られた。 ↓ ・保護者が知りたいことが伝わっていないのではないか。 ・保護者のニーズにあった対応ができているのか。 ・家族支援、兄弟児支援は不十分である。	○改善目標 ・細かな成長や発見をタイムリーに伝える。 ・HUGや降園時の伝達内容を検討する。 ・家族支援、兄弟児支援の内容について検討していく。